

二〇二〇年度 入学試験問題

国 語

第二回

【注 意】

- ・試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・問題は一ページから七ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一 ——(1)「障害」とは何か、を考える上で、まったく対照的な二つの考え方」とありますが、これはどのような考え方ですか。六十五字以内で答えなさい。(句読点を含みます。)

問二

(2)に入る文としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 障害という問題を、単に個人の問題だけに押し込めるのではなく、

家族全員でサポートし、乗り越えていこうという発想

イ 障害という問題を、単に個人の問題だけに押し込めるのではなく、

さまざまな生の条件を背負った人たちにハンディキャップをもた
らす要素を治療によって取り除こうという発想

ウ 障害という問題を、単に個人の問題だけに押し込めるのではなく、

社会全体で問題を受け止め、解決していこうという発想

エ 障害という問題を、単に個人の問題だけに押し込めるのではなく、

すべての人間が抱えている個性の一部であると考え、許容してい
こうという発想

問三

——(3)「自立生活運動」と呼ばれる社会変革のための運動」とありますが、この運動が目指すものとしてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 地域のバリアフリー化

イ 障害者施設の充実

ウ 在宅介護費用の補助

エ 障害者家族へのカウンセリング実施

問四

——(4)「社会が、障害者に『おとなしく』『けなげ』であることを強いてくる」とありますが、これはどのようなことですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問五

本文中で、筆者は、障害という問題を考える上で私たちに必要なのは具体的にどのようなことだと言っていますか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問六

A D

に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア また イ たとえば ウ このように エ しかし

問七

――(ア)～(オ)のカタカナを漢字に直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つを選び、記号で答えなさい。

ア 障害とは、社会的障壁（しやうへき）によって日常生活に制限を受けている状態であり、社会を変革することでしか乗り越えることはできない。

イ 障害とは、社会の環境（かんきやう）次第で「重い・軽い」が大きく変わり得るものであり、必ずしも障害の等級が現実の不自由さの大きさを表すとは限らない。

ウ 障害とは、考え方や価値観によってとらえ方が異なるものであり、その人に障害があるかどうかは医学であっても決して判断することができない。

エ 障害とは、時代によって社会の受け止め方が変化するものであり、絶対的な治療法（ちりやうほう）が確立されているわけではない。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

130

125

120

115

110

105

100

問三

——(3)「一か所だけ、五階のちようど草をむしっているところの正面にあたる窓だけはカーテンが開いていた。」とありますが、これはどのようなことの表れですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問四

——(4)「ちがいます、と否定しかけた壮介にかぶせて『そうです』と断言したのはレイだ。」とありますが、壮介とレイの主張が食い違った背景としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア レイの言う通り、壮介とレイは友達関係とは言い難いが、レイは共通の友達である秀明が二人の間で板挟みになるのを避けようと考えた。

イ レイの言う通り、壮介とレイは友達関係と言って差し支えないが、壮介はレイを心の底では嫌っているため本音が出てしまった。

ウ 壮介が言いかけたように、壮介とレイは友達関係とは言い難いが、レイは壮介を友達だと紹介することで母親を安心させることができると考えた。

エ 壮介が言いかけたように、壮介とレイは友達関係と言って差し支えないが、壮介は初対面のおじいさんの前で本当のことを言うことができなかった。

問一

——(1)「ふたりの前でドアが何度も開閉する。そのたびに消毒液のおいとさざめきがあふれ出てくる。人々がふたりを邪魔くさそうによけて出入りしていく。」とありますが、この時のふたりの様子としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ふたりは病院の建物の中にいて、レイのことをずっと探していたため、ドアの向こうにある庭の様子を伺っている。

イ ふたりは病院の建物の外にいて、病院独特の雰囲気には怖気づいてしまったため、思わず立ち止まっている。

ウ ふたりは病院の建物の中にいて、混雑によってレイの姿を見失ったため、辺りを見回して探している。

エ ふたりは病院の建物の外にいて、自分たちが正しい場所にいるのか自信がないため、足を踏み入れられずにいる。

問二

——(2)「その目が見開かれる。一瞬、バツが悪そうな顔をした。」とありますが、この時のレイの心情を解答らんに二行以内で答えなさい。

問五

——(5)『手伝え』とありますが、ここからレイを手伝うことを承知するまでに、秀明の心境はどのように変化しましたか。五十五字以内で答えなさい。(句読点を含みます。)

問六

——(6)「ツルの恩返し」とありますが、鳥類に関連する次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 鳥なき里のこうもり
- 二 窮鳥懐に入れば獵師も殺さず
- 三 すずめ百までおどり忘れず
- 四 くちばしが黄色い
- 五 きじも鳴かずばうたれまい

〔意味〕

- ア まだ年がわかくて、世の中のことを知らなかったり、ものごとをじゅうぶんにできなかったりすること。
- イ 物事に秀でた人や強い人がいない場所では、実力のないものがいばるということ。
- ウ よけいなことを言ったばかりに、自分から災難をまねくこと。
- エ 追いつめられて助けを求めてきたものには、どんな理由があっても残こくにはできない、助けるのが人情である、ということ。
- オ 小さいころに覚えたことは、年をとってからも忘れないということ。

問七

A ～ D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号は一回ずつ使用します。)

- ア へらへら イ ふしようぶしょう
- ウ ぞわぞわ エ ずんずん

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア お母さんは、レイに対し、申し訳ないと感じつつも、彼が向けてくれる優しさを嬉しく思い様子を見守っている。
- イ 秀明は、レイに対し、にらんできたりすぐに怒ったりする怖い奴という印象を抱いており、極力関わらないようにしている。
- ウ 壮介は、レイに対し、衛生チェックの○と×を書き換えてやった貸しがあるため、強くものを言う傾向がある。
- エ おじいさんは、レイに対し、理解と好意を向けており、彼が長い間放置していた自分の土地にレイが花を植えることに協力している。

